



記者発表資料

新たな取り組みとして、橋梁の日常メンテナンスや補修を一元的に実施する「橋梁補修維持工事」を発注します。

～「R2相武国道事務所管内橋梁補修維持工事」において、「余裕期間制度(フレックス)」及び「難工事指定」を採用します～

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R2相武国道事務所管内橋梁補修維持工事」については、「余裕期間制度(フレックス)」及び「難工事指定」を試行します。

(1) 「橋梁補修維持工事」

橋梁補修に小規模なメンテナンス作業が含まれる工事です。小規模なメンテナンス作業は作業日報に基づき積算します。

(2) 「余裕期間制度(フレックス)」

発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の中で、受注者が工事の始期と終期を決定します。受注者が決定した工事の始期から終期までが工期となり、受注者が決定した工事の始期までが余裕期間となります。

(3) 「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事(試行)」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、八王子記者クラブ
立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所

TEL : 042-643-2001(代)

副所長 もりさわ 森澤 まさあき 雅昭 (内205) 管理第二課長 まるやま 丸山 なるひこ 徳彦 (内441)

《工事概要》

- (1) 工事名： R2相武国道事務所管内橋梁補修維持工事
- (2) 工事場所： 相武国道事務所管内
- (3) 工期： 契約の翌日から令和4年2月28日（余裕期間制度（フレックス））
- (4) 入札方式 総合評価落札方式(施工能力評価型Ⅱ型)
- (5) 工事種別： 維持修繕工事
- (6) 工事内容： 構造物補修工 1式
 応急処理工 1式

《余裕期間制度（フレックス）について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年2月28日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者の配置が不要となります。

《難工事指定について》

本工事は、交通量が多い現道上での夜間作業、限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる箇所が点在しており、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評価を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- | | |
|------------------|-----------------|
| ○入札公示、入札説明書 交付 | ： 令和3年 2月24日（水） |
| ○技術資料等 提出期限 | ： 令和3年 3月 3日（水） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | ： 令和3年 3月18日（木） |
| ○開札日 | ： 令和3年 3月22日（月） |